

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版)2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市広芝町マンション計画	階数	地上15階
建設地	大阪府吹田市広芝町11番9、25	構造	RC造
用途地域	商業地域・防火地域	平均居住人員	368 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年4月29日
敷地面積	945 m <sup>2</sup>	作成者	(株)IAO竹田設計 田中
建築面積	670 m <sup>2</sup>	確認日	2015/4/31
延床面積	7,628 m <sup>2</sup>	確認者	(株)IAO竹田設計 山口



ください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺への配慮として道路境界から建物までは一定の距離をとり、緩衝帯となる緑地を設ける計画としている。	
その他	0	
Q1 室内環境	VOCの排除、ノンホルムアルデヒド(F4☆)の材料選定を行う。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	劣化対策等級3を取得し、耐久性に優れた建物としている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	周囲環境に調和した植栽計画としている。歩車道分離により居住者の安全性を高めている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	省エネ等級3を満たす計画としている。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用し、地球環境に配慮している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	可能な限り植栽を配置しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0011

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)吹田市広芝町マンション計画新築工事					
		建設地	大阪府吹田市広芝町11番9、25					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>							対象外	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.5		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.3		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				-		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								